

「新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について」アンケート

みなさまのご意見を参考にさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願いします。

【調査期間】 令和2年10月10日（土）～令和2年10月26日（月）

■調査目的

新型コロナウイルスの感染拡大により、4月16日に緊急事態宣言が全国に拡大され、4月18日より栃木県が緊急事態措置となりました。不要不急の外出自粛要請と併せて、学校の休校や在宅勤務、店舗や施設の休業等、生活に大きな影響を及ぼすことになり、生活不安やストレスの増加、またそれらに起因するDVの増加が懸念されるなどが問題になりました。5月6日栃木県の緊急事態措置は解除されたものの、新しい生活様式の実践や働き方が見直され私たちの生活は大きく変化しました。

その中で浮き彫りとなってきた課題の一つが、新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響です。女性は非正規で働いている場合が多く、職を失いやすいうえ、学校の閉鎖や保育園の受け入れ縮小により、子育てや家の中の仕事を一気に担うことが多くなりました。また、今までとは異なるワークライフバランスの在り方や心理的ストレスとどう向き合っていくかも問題となっています。

栃木県女性の生活や心身にどのような影響を及ぼした（している）のか現状を把握し、今後の生活や働き方を展開するにあたって、必要な取組みは何なのかを導き出すことを目的とし、新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響についてアンケートを実施します。

■調査方法

Web調査（10問5分程度）（株式会社マクロミル Questant）

なお、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の個人が識別できる情報として公表されることはありません。

■対象

栃木県内在住の女性

■アンケート実施者・協力機関

実施者：宇都宮大学ダイバーシティ研究環境推進本部 特任助教 川面充子

協力機関：栃木県、公益財団法人とちぎ男女共同参画財団、栃木労働局雇用環境・均等室

■下記のURL、または右のQRコードを読み取り、アンケートにご回答ください。

<https://questant.jp/q/8SD4W056>



■11月20日フェスタ in パルティにてアンケート調査中間報告

2021年3月 アンケート調査結果・分析報告、情報誌パルティ掲載

■アンケートに関するお問い合わせ先

宇都宮大学ダイバーシティ研究環境推進本部 特任助教 川面充子

電話：028-649-5151／メール：mkawazura@cc.utsunomiya-u.ac.jp